

あいら支部総代会議



4月28日(金) 加音ホールにて、あいら支部総代会議を開催し、22名の総代の皆さんに会場まで足を運んでいただきました。

まず、あいら支部の22年度の活動・会計・事業報告、23年度の活動方針の提案があり、すべて承認されました。その後、総代会案件として、亀崎理事長からは「カーボンニュートラルの検討の経過」、副理事長からは「みんなの居場所作り」、小蘭専務からは「組合員を増やす取り組み」について、それぞれ報告をしていただきました。

また今回は、あいらエリア内にある「霧島太陽光発電所」をより多くの組合員に知っていただきたいという想いがきっかけとなり、SATO Ene(株)代表の及川斉志さんをお招きし「みんなでつくる発電所」と題して講演をしていただきました。及川さんが作られた水力発電所のお話や、地球温暖化のお話、再生エネルギーの必要性などについて、とても柔らかい語り口でお話してください、環境問題について、自分に引き寄せて考えるきっかけになつたのではと思います。

3年ぶりの会場開催で運営側に少し緊張もありましたが、顔を合わせて交流することの大切さを改めて実感することができた支部総代会議となりました。総代の皆さん、ありがとうございました。

(あいら支部委員長 横山利恵)



香員さんのひとり言



父が他界してから90歳の母は元気がない。自分は世の中で何の役にも立っていない、生きていればそれだけでお金も掛かると嘆く。そんなこと言わず、必要なお金はちゃんと使って長生きしてよ!と言っても母の心は晴れることは無い。

ある日、私は尋ねてみた。「もし、送り迎え付き、簡単な手作業、短時間労働で、多少のお金が貰えるとしたら働く?」すると母は、「仕事仲間がいたら楽しいし、90歳でも世の中の役に立てる場所があったら働いてみたい」と答えた。思い付きで考えた事だったが、母の気持ちを聞いた後、本当にそんな場所があったらなあと思った。

幾つになっても、生きがいの選択肢をちゃんと用意できる社会が良い。云うならば、ただ長生きが目的じゃなく、長く生きがいのある人生。例えば現在ある就労支援事業所で高齢者も仕事ができないだろうか。もしグリーンコープでそんな場所が作られたらもっと嬉しいのだけど…

(福祉委員会 有馬美千代)

4月16日(日)キープ&ショップおおすみのオープン祭りに行ってきました。



みんなの商品とお店委員会は、GC「うめ~昆布ちりめん(花えび入り)45g」を用意し、ご飯に混ぜ込み一口大のおにぎりにして試食してもらいました。中には「これはおいしい」と言われ2袋購入された方もいらっしゃいました。

試食販売ブースでは、(株)ビッグファイブの餃子、(株)ナカシン冷食の冷凍マンゴー、(株)ふくれんの豆乳、炭酸水等がありました。

著作りやゲームコーナー、組合員手作りのお弁当やお菓子の販売など、たくさんの組合員が来場され大好評でした。キープ&ショップおおすみには普段からドライ商品だけでなく冷凍品も置いてありますので、ぜひお越しください。

(みんなの商品とお店委員会 本松政子)



GC「うめ~昆布ちりめん(花えび入り)<45g>

293.76円(税込)



私とグリーンコープの出会いは、同級生で先輩ママ友から、みかんジュース(瓶)をお中元でいただいた際に飲んだのが始まりです。親子して「すごくおいしかった」と、ゴクゴク飲みました。その後、そのママ友からグリーンコープの食品や商品について教えてもらいました。

子どもの味覚が敏感で、私自身も食や健康について気になっていましたので、他生協の赤ちゃん個配だったのを、夫と相談して切り替えました。それから18年間、グリーンコープの個配で子育てを支えてもらい、県外の大学に進学した長男は今でも私が宅配便で送るかたちでお世話になっています。

最近参加するようになった学習会では、環境や人、社会に対して配慮されたものを作り出してくださる生産者さんやメーカーさんのことを学んでいけるのでとても勉強になります。自分の周りの大切な人たちに少しづつでもグリーンコープの良さを伝えていけたらと思っています。

(かごしま北支部 井原康子)